

福島第一原子力発電所 HICスラリー移替え作業における ダスト濃度上昇について

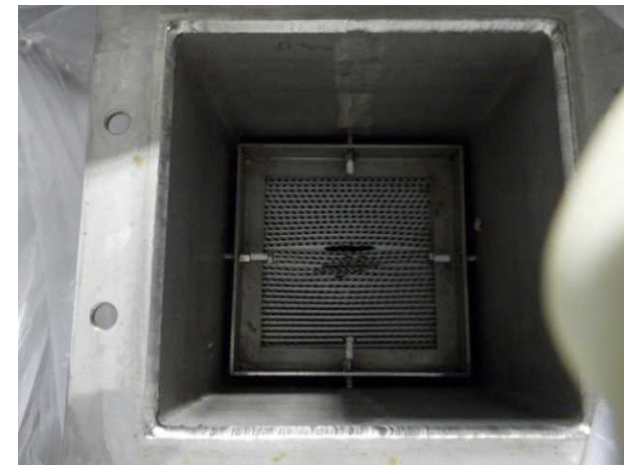
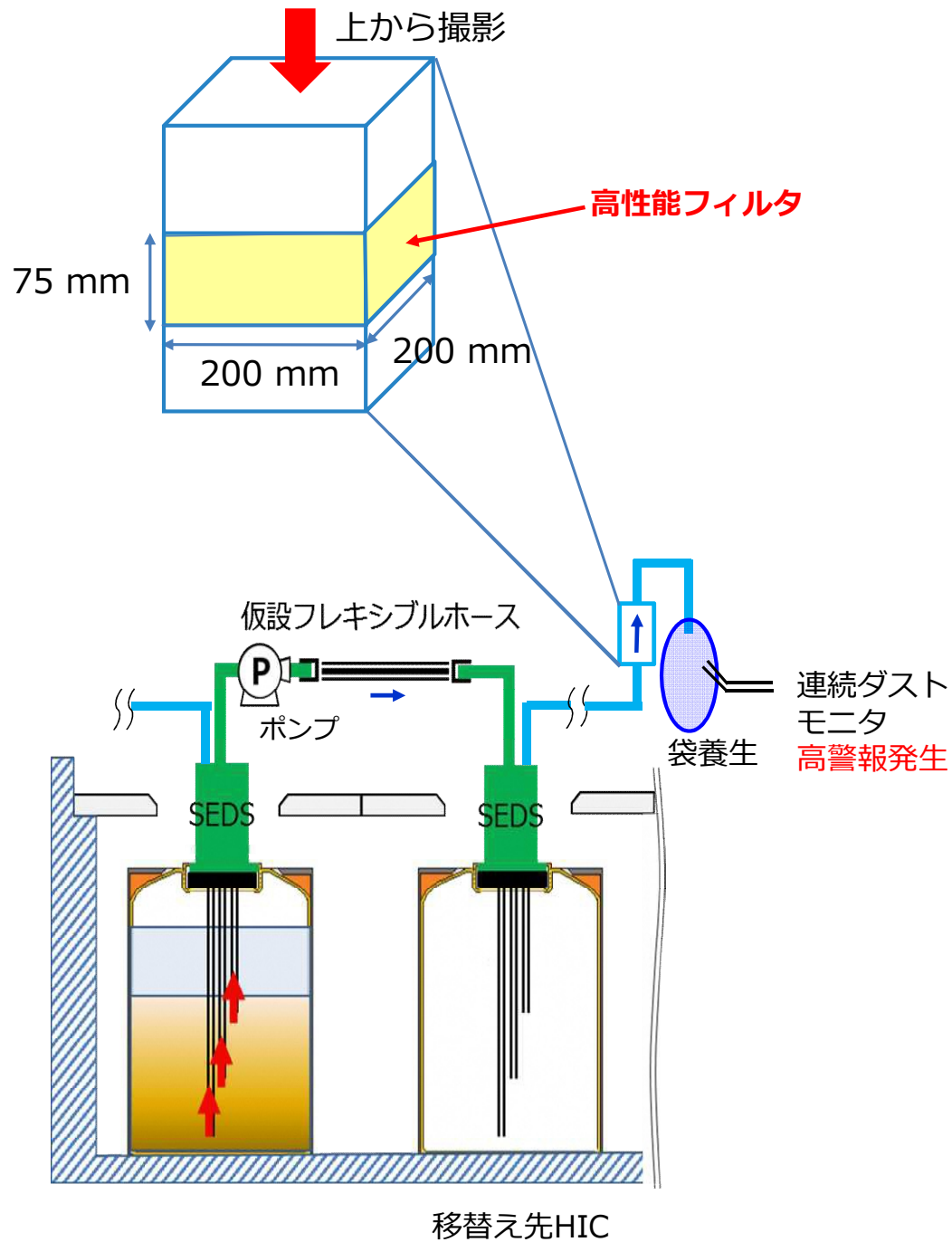
＜ 参 考 資 料 ＞
2 0 2 1 年 8 月 3 1 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 汚染水の浄化処理の過程で発生した炭酸塩スラリーを収容している高性能容器(以下、HIC)のうち、低線量のHIC(2基)の移替えについて、本年8月5日から順次、安全を最優先に、慎重に作業を進めています。
- 8月24日に、増設多核種除去設備(以下、ALPS)建屋内でスラリー移替え作業を実施していたところ、移替え先のHICに設置したスラリー移替装置(SEDS)の排気ライン出口において、作業用に設置した連続ダストモニタのダスト濃度高警報※¹が発生したことから作業を一時中断しています。
- その後、ダスト濃度の警報が発生した原因調査として、8月30日に排気ライン出口の高性能フィルタを点検したところ、当該フィルタに損傷があることを確認しました。
- ダスト濃度の警報発生の原因については、当該フィルタ損傷によるものと推定していますが、増設ALPS建屋周辺の連続ダストモニタ指示値に有意な変動がないこと、また、当該作業においては適切な装備を着用しており、作業員に身体汚染のないことを確認しています。
- 当該フィルタが損傷した原因や、その他のフィルタの状況※²については、今後調査を実施してまいります。
- また、これまでのところ、既設ALPS及び増設ALPS建屋周辺及び、敷地境界の連続ダストモニタに有意な変動はなく、周辺環境への影響は確認されておりません。

※¹ 作業中断を判断する作業用に設置したダスト濃度値： $1.0 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ (ダスト濃度高)
【ダストモニタの濃度高高： $8.0 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ 】、今回のダスト濃度測定値： $3.3 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$

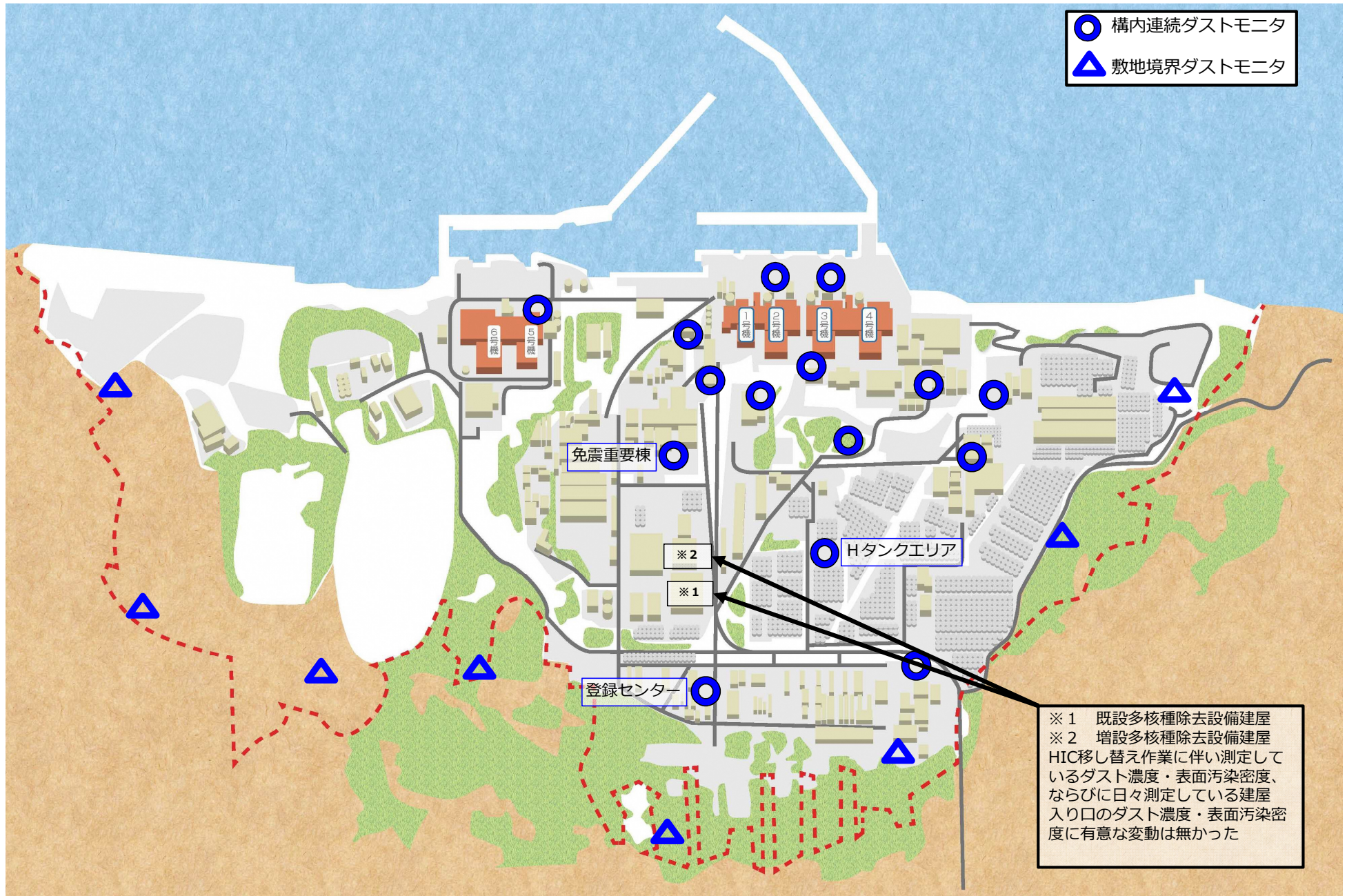
※² 高性能フィルタについては、既設ALPSと増設ALPS合わせて、全25箇所あります。
このうち、スラリー移替え作業で確認された1箇所のほか、
8月31日に2箇所の高性能フィルタを点検し、いずれも損傷があることを確認しました。

(参考) HICのスラリー移替え装置の概要

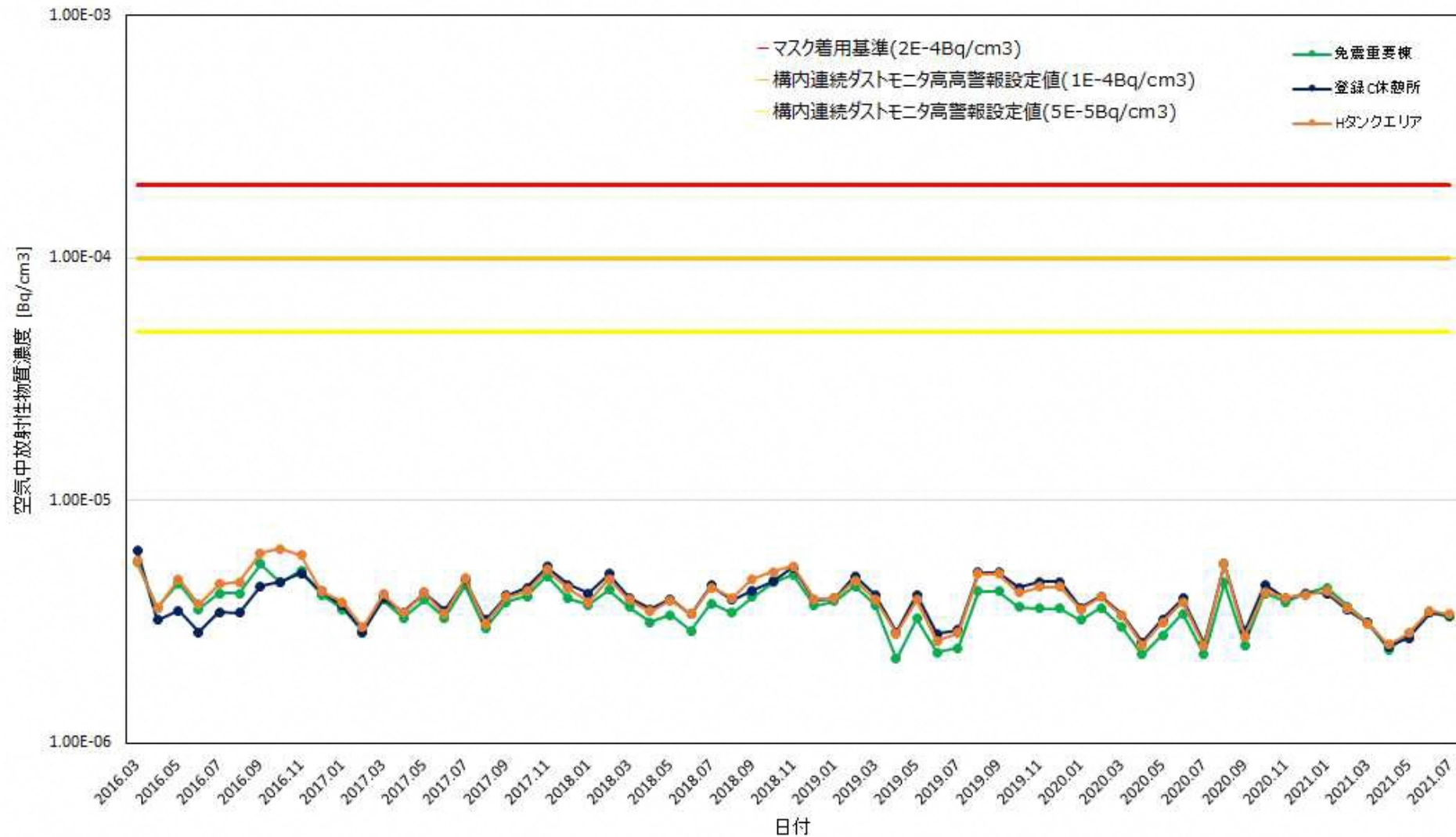


高性能フィルタ

(参考) 構内連続ダストモニタ配置図



構内連続ダストモニタの推移 (月平均)



多核種除去設備建屋近傍の構内連続ダストモニタの推移を示す